



広報

2002  
平成14年

# せと 7

風車のまわるアジな

No.350



野外活動2日目、お昼ご飯をグループごとに準備を始めた最中。合い間をぬってブリーズハウスの前で集合写真!!  
瀬戸中2年生と担任の中村先生

## 瀬戸中学校2年生 自然の中で生活体験

瀬戸中学校（井上丈生校長以下生徒84名）の2年生33名が神崎ブリーズハウスで野外活動を行い、自然の中で飯盒炊さんやフィールドワークなどをしながら、みんなで助け合って共同生活を送る意義や協力することの大切さ、生活する知識などを学びました。

又、キャンプファイヤーを楽しんだり、寝起きを共にすることでクラスの絆も大いに深まったことでしょう。  
（関連記事7ページに掲載）

## 今月の主な内容

6月定例議会・臨時会報告	2~4
新診療所スタート	5
シリーズ③市町村合併	6
瀬戸中2年生野外活動	7
みんなの作況	9
お知らせ	10~11
人々のうごき	12

# 六月定例町議会

正・副議長  
改選

六月二十五日に開かれた定例町議会に、工事請負案件など三十一議案が上程され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。また、議会人事が行われ議長に久世隆博氏、副議長に上田賢氏が選出されました。

## 主な議案の説明

- ▽十四年度一般会計補正予算
  - ・三机保育園改善工事費など 二億七千七百万円を追加補正し、予算総額を三十一億六千二百七十万円とするもの。主な補正案件は次のとおり。
    - ・三机保育園改善工事 六千七百八十万円
    - ・地域インターネット整備事業 六千五百万円
    - ・風車公園整備工事 三千万円
    - ・スクールバス更新 五百四十万円
    - ・二級ヘルパー養成支援費 八十万円



改装が進められる三机保育園（9月着工、来年2月完成予定）

## 議会人事

▽工事請負契約の締結  
川之浜港整備に係る工事請負契約について承認を得るもの。工事内容は物揚場・野積場・関連道路及び泊地の整備を行うもので、漁港機能の高度化と生産性の向上を目的としています。

契約金額 一億二百九十万円  
契約相手 太陽建設有限会社

### ▽補戸町選挙管理委員会委員及び同補充委員の選挙

任期満了に伴う補戸町選挙管理委員会委員等の選挙が行われ、指名推薦により左記の方々が選任されました。なお、任期は平成十八年七月三十日までの四年間となります。

- 【選挙管理委員会委員】  
河野 松彦氏（三机）  
谷口 利治氏（小島）  
松本 幸久氏（大久）  
水野 久氏（田部）
- 【同補充委員】  
佐々木 保氏（川之浜）  
田中 國雄氏（大江）  
佐々木 久氏（塩成）  
細川 峰彦氏（足成）

- 議長 久世 隆博氏  
副議長 上田 賢氏
- 【総務常任委員会】  
委員長 福島 大朝氏  
副委員長 小早川吉昭氏  
委員 上田 賢氏  
委員 二宮 英喜氏  
委員 大久保光留氏

### 【建設常任委員会】

- 委員長 阿部 道忠氏  
副委員長 山本 吉昭氏  
委員 坂本 竹市氏  
委員 久世 隆博氏  
委員 阿部 軍治氏  
委員 清水 米満氏  
委員 松澤 周作氏

### 【議会運営委員会】

- 委員長 清水 米満氏  
副委員長 坂本 竹市氏  
委員 福島 大朝氏  
委員 山本 吉昭氏  
委員 二宮 英喜氏  
委員 二宮 英喜氏
- 【議会選出監査委員】  
二宮 英喜氏  
【広域市町村圏組合議員】  
上田 賢氏 實氏

## 一般質問(要旨)



松澤 周作 議員

①市町村合併について  
本町は半島四町合併という形を打ち出しておりますが、先般保内町が一市四町という選択をされました。その結果、本町が半島四町という考えを押しに行けるかどうか、また、半島三町という考えが出てくるかどうか、その際は再度町民の皆様方に対してアンケートをされるのかお尋ね致します。

②職員採用と人事について  
昨年度、本年度と職員を採用されておりますが、来年度も職員の採用を考えたのかお尋ね致します。また、合併をお控えている中、職員採用を見合わせている自治体も多いと聞きますが理事者の考えを

お尋ね致します。

次に人事の件ですが、保育職専門で何十年も働かれた方が一般職にまわられるケースが何件かありますが、何か理由が御座いますか。また、保育職員が余っているのかお尋ね致します。

### ③教育文化施設について

文化センターを利用して、商工会が、現在、個人の家を間借りして業務を行っておりますが、どういった事になっているのかお尋ね致します。

### ④神岡中央線について

用地買収でトラブルがあり、数千万円の先行買収をした物件がそのまま塩漬けになり事業が中断されています。この事業の今日までの経過とこれからの見通しについて説明をお願い致します。

### ⑤風力発電事業について

三菱重工との第三セクターで、町の尾根づたいに千KW風車十一基の建設が今年度から始まりますが、風車公園を含めた事業内容の説明とこの事業に対する町や町民の利点、また、環境への影響や騒音などの心配をしないでいいかお尋ね致します。

## 町長

①半島三町合併の可能性が出てきた場合、再度住民アンケートを取るのかという主旨のご質問ですが、先般、保内町長が一市四町での合併を表明されましたが、現時点で伊方町、三崎町は明確な表明を致しておりません。本町の場合は住民のアンケート結果を踏まえた中で、半島四町の合併を推進するという基本姿勢であります。今後関係町との協議の中で、結果的に半島三町という枠組みも可能性としてございます。ただ、先般の

アンケート調査の中で住民の皆様が半島四町を希望した理由としては「合併はお互いの顔が見える、温もりの伝わる範囲で見える町同士の組み合わせが良い」というものでした。そういう主旨から致しように、仮に半島三町というような話がある場合には、その時点で議会の皆様と相談をしながら最終決定をしなければならぬと考えております。

②職員採用につきましては、行政執行上必要な人材を確保するという観点から、退職予定者を考慮しながら計画的な採用を行っている所でございます。来年度の新規採用につきましては、合併問題も含めまして、退職予定者もいらないことから今のところは考えておりません。

次に人事管理ですが、現有職員の中から町民の要望に応えるためには組織の要員と職員との連携が大変重要でございます。その効果的な推進を図るため、専門職のみでなく職

場間での人事交流を行いながら、人材育成にも配慮した人事管理を行っている所でございます。保育職員が余っているのですかとのご質問もございましたが、保育職と一般職との人事交流につきましては専門職である保育職員も役場業務を経験し、再び現場に帰ってその経験を更なる業務の充実活かすという観点で行っている所でございます。

### ③商工会が同居している文化センターは電源交付金で整備し、商工会に管理を委託して

いたしました。今般、交付金施設の利用状況調査があり、商工会の入居が施設の目的外使用にあたる為、国の許可を受けること、またそれまでの間（半年間）一時移転するよう町としての指導を受けました。

町としては、施設の管理を商工会に委託したものであり目的外使用との認識は無かった訳ですが、国の指導に基づき商工会が再入居するための許可手続きを進めている所でございます。なお、商工会員の皆様には役員会を通じまし

## 建設課長

て一連の経過と今後の動向についてご説明をし、ご理解を願った所でございます。

④神岡中央線新設事業につきましては、十年度を初年度に着手したのですが、用地取得について一部相続人の承諾が得られず、事業推進に支障を来している所であり、町としても再三にわたり代表相続人を通じて家屋の取り壊しと相続人全員の承諾をお願いしております。進捗状況は家財道具移転のみの仮設倉庫の建築と家屋の一部取り壊しが終わっている状況であります。

しかしながら作業途中の段階で相続人の間において解決すべき紛争が生じており、その問題については町が関与できない状況にあります。

今後の対応につきましては、地区の協力のある限りながら、事業に支障のある残りの家屋の取り壊しと相続人の理解が得られるよう最善の努力をいたす所存でございます。

# 待望の瀬戸診療所、完成!!

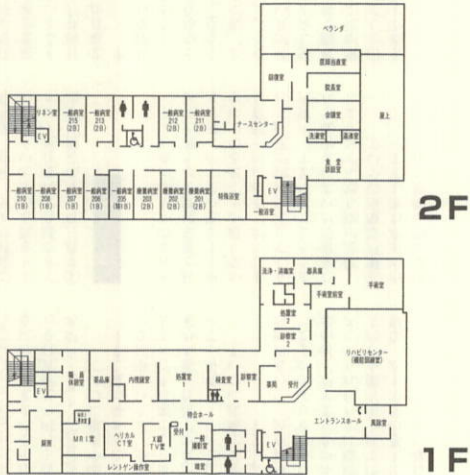
## 町民の健康管理に全力投球

昨年9月末から施工中の瀬戸診療所がこのたび完成の運びとなりました。当施設は、MRI、CT等高度医療機器をはじめ、入院施設19床を完備した近代的な診療所です。検査機器の充実による病気の早期発見治療及びリハビリ機器を活用した慢性関節症の治療等、皆様の健康管理に努めます。なお、大久出張診療所を含め、診療日程は別紙予定表により行います。



### 施設の概要

- ・名称 瀬戸町国民健康保険 瀬戸診療所
- ・場所 瀬戸町三机乙2587番地
- ・規模・構造 診療所 RC造 2階建  
医師住宅 S造 3階建  
(1階 駐車場)
- ・床面積 診療所 A=1483.03㎡  
医師住宅 A=261.85㎡
- ・診療科目 内科・外科・小児科・放射線科・肛門科・リハビリテーション科
- ・病床数 療養病床(6床)  
一般病床(13床)
- ・主要設備 MRI・CT・X線テレビ一般撮影・手術室・リハビリセンター・内視鏡室



### 企画課長

⑤まず発電事業の内容ですが千KW風車十一基により、十五年間発電事業を行うもので、運営は三菱重工との第三セクター方式でございませう。また、関連施設の風車公園は、アツカ塔跡地周辺に展望台や休憩施設等を整備し、町の新名所として観光客の誘導を図るものでございませう。次に事業効果ですが、一つには地域経済の浮揚を見込んでおります。この事業により売電収入や町税収入が生れますし、商工観光面での消費拡大も見込まれます。このことは町民所得の向上や行政サービスの充実という形で広く町民の皆様に効果が及ぶものと考えております。もう一つは誇れる大きなシンボルができるということも大きな効果と考えております。

### 福祉課長

⑥新診療所の運営方針と将来展望につきましては、次の三点を基本に町民の健康管理に取り組んで参りたいと考えております。まず一点目は集団検査業務の充実でございませう。MRI・CTを始めとする各種精密機器を整備し、これまで委託しておりました検査業務について可能な限り診療所での検診体制を整えて参ります。二点目はリハビリ部門の充実でございませう。町内の高齢者に多い慢性関節症の治療につきましても現在の病院に頼らざるを得ず、患者の皆さんの大きな負担となっておりますので、リハビリ機器の整備と理学療法士の雇用によりこれを解決して参ります。三点目は医療・保健・福祉の連携でございませう。これにより、町民個々の健康状態等について情報交換を密にし、病気の早期発見など「町民が安心して暮らせる瀬戸町」を目標として参ります。



阿部 軍治 議員

▽町行政に対する件について私宛に届いた一通の投書に関連し、次の五点についてお伺い致します。  
①これまでも問題になっていた診療費一部負担金のもらいすぎの件について、明らかにして頂きたい。  
②診療所入院患者がナースコールを押しても返答がないので話所へ行こうとしてベッドから落ち、そのまま死亡したとの話しを聞きました。これは私も中傷か嫌がらせと認めますが本当でしょうか。  
③当時、総務課長に用事があり役場へ行った所「今は忙しいから今度にして下さい」と言われた人がいたそうですが、そんな事があったのかどうかお伺い致します。

### 町長

④昨年、診療所医師宅で勤務中の職員による窃盗事件がありました。当然その職員は懲戒免職になりましたが、町の関係者は何の処分も受けないのはどういふ事かお伺い致します。  
⑤私宛にきた投書を町長・助役に見せ、その後、町の調査により投書の主がほわかつたと聞いたのですが、本当かどうかお伺い致します。

### 主な議案の説明

▽物品購入契約について  
新診療所に配備する医療機器等の購入契約について承認を得るもの。内容は診察室・病室・ナースステーションほかの医療関連用品を整備するもので、地域医療の高度化と診療体制の充実を目的としています。  
契約金額 四千三百五十万円  
契約相手 共和医療器機



### 七月臨時議会

七月五日に召集された臨時議会に、物品購入契約案件など二議案が上程され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

# 市町村合併

## 半島四町での合併は困難な状況に！ 伊方町・三崎町との三町合併を検討

七月十二日、八幡浜市と西宇和郡の半島部四町の首長、議会議員等が市町村合併の枠組みについての意見交換を行いました。

会合の席上、各市町から今までの市町村合併に向けての取り組みから得られた結果の報告があり、八西地域の合併の枠組みについての各市町の考え方が確認されました。

本町は当初から佐田半島四町での合併を基本姿勢として意志を明らかにしていたところですが、そのカギを握る保内町は最終的に八幡浜市との合併を進めるとの結論に至り、一市一町での合併方針が打ち出され、半島四町での合併案は事実上不可能となりました。

一方、伊方町は先に「八幡

浜市との合併は行わない。四町案が崩れるのであれば半島三町での合併を」との姿勢を打ち出しており、本町としても四町合併の基本方針を軌道修正せざるを得ないため、議会等との協議を行いながら、関係三町との合併に向けて取り組みを進めることになりました。

### なぜ半島三町か？

本町と伊方町、三崎町の半島三町は、町民アンケートの結果等から保内町を含む半島四町での合併を推進していきながら、保内町が八幡浜市との合併を選択したことから、本町は八幡浜市と保内町と共に一市四町での合併の道を選ぶか、残された三町

での合併の道を選ぶかといった二つの選択肢から結論を出さなければならぬ状況となりました。

しかしながら、先に行なった町民アンケートの結果である「半島四町での合併」の根拠となる理由は「お互いの顔が見える小さな範囲で、共に状況を理解しあえる町同士での合併。」が町民の希望する多数意見でありましたので、半島四町での合併が不可能となった時点で、住民の望む意見に一番近い組み合わせを考慮すれば「半島三町での合併」という選択が適当であると判断されたものです。

(内容：七月十五日現在)



◆市町村合併について考えてみませんか◆  
**「市町村合併に関するまちづくり委員会」(仮称)の委員を公募します。**

・町では、これからの合併協議の推進にあたり、町内各分野の方々のご意見やご要望をお伺いして町民の意見がこれからの合併前後のまちづくりに反映され、住民参加による行政の推進体制を図るために合併に関するまちづくり委員会の設置を予定しています。

・委員の構成は、町議会関係者をはじめ教育・福祉各分野の団体関係者や、経済団体代表者、地区区長さん等にお願ひする予定としていますが、今回募集する一般公募の委員を含め、全体で50名程度を予定しています。

**【募集内容】**

①応募資格	町内に住所を有する意欲のある方(年齢、性別不問)
②募集人員	2～4名(応募者多数の場合は選考により決定します。)
③申し込み	役場総務課に申し込み用紙を備えていますのでご連絡下さい。 (申し込みの際、応募の動機等について簡単に伺います。)
④募集期間	平成14年7月31日(木) 正午まで

## 自然体でいきいき野外活動

### 瀬戸中2年生



2日目の夜はみんなで楽しくバーベキュー

活体験を行なっており、自然の中で素朴な生活することによって「生活する知恵」や「たくましく生きる力」を養っています。

今年初の試みとして二十六日朝、瀬戸中学校を徒歩で出発し、ブリーズハウスまでの十六キロを全員で歩き、つらさを克服し最後までやり遂げる忍耐力や達成感を初日に学んだようです。また、生徒たちは、班ごとで自分の食事を作ったり、フィールドワーク等の活動を通して一つのことをみんなで協力しあうことの大切さや友情のすばらしさを存分に味わった事でしょう。

瀬戸中学校二年生三十三名が、六月二十六日(例)から二十八日(例)までの三日間、集団生活の中でお互いの理解を深め、公共心など社会性を育てることを目的に神崎ブリーズハウスで野外活動を行いました。瀬戸中学校では、毎年二年生がブリーズハウスで生

貴重な体験をした皆さんに感想を聞いてみました。



2年 大森 喬太

ブリーズハウスに行くときは、十六キロも歩いたことが一歩しんどかったです。でも、友達といろいろ話せたのでおもしろかった。



2年 是沢 裕樹

ぼくは、野外活動に行ったら飯盒炊きをするとき、薪を運んだり火を起すのがものすごく大変でした。キャンプファイヤーの火がとても熱かったのが忘れられません。



2年 中村 尚史

ぼくは、この野外活動で班

の人や同級生たちと協力して一つのことをやり遂げる大切さを知りました。この経験をこれから役立てたいです。



2年 松田 大地

ぼくが、この三日間で一番心に残ったことは、やっぱりキャンプファイヤーです。野外活動の最後の思い出としてかなり心に残っています。



2年 井上 藍

野外活動での三日間は、すごく大変だったけどとても楽しかったです。特に、食事をみんなで協力して作れたのがよかったです。



2年 河内 里子

私たちは、今回の野外活動で「十六キロを歩く」という大きなことに挑戦しました。何度も歩くのがいやになったけど友達と歩いた時間はい思い出になりました。



2年 小早川裕美

私が野外活動で楽しかったのは、フィールドワークです。周りの自然を楽しみながら班のみんなと協力してできたのでよかったです。



2年 中里ちひろ

私が野外活動で一番心に残っているのは、十六キロウォークです。疲れたけど、とても思い出になりました。





# 戸籍の窓

平成14年6月分

お誕生おめでとう

本籍 出生地氏名 性別 家族構成

ご結婚おめでとうございます

本籍 結婚前氏名 家族構成

おくやみ申し上げます

本籍 死亡者氏名 年齢

平成14年6月末現在

●人口	2,710人 (+7)
●男	1,274人 (+5)
●女	1,436人 (+2)
●世帯数	1,140戸 (+5)

＜＞内は先月との比較

※広報に掲載不要な方は、届出時に申し出て下さい。

## わが家の愛ドル

三机  
久世  
忠治  
さん  
の子



久世 若菜ちゃん  
(平成12年3月13日生まれ)



生まれたばかりの弟の健太くん  
のベッドで2人仲良く寝んで。

いつも元気な若菜ちゃん。弟の健太君と仲良くしてね。

—お父さん・お母さんより—

井上 宏之(塚内町出身)  
七月一日付で町見同より  
転勤して参りました。  
瀬戸町は、各種イベント行  
事が活発で、各様イベント行  
を感しております。  
一日も早く地域に溶け込ん  
で、住民の皆様にあられる瀬  
戸郵便局を盛り上げていきたく



○議員の異動が  
ありました

ゆうちゃんだより

いと思えますので、どうぞよろしくお願いたします。

次の方々から指定預託の申し出がありました。

故人が生後お世話になったお礼として追悼、理社活動に役立ててほしいとご寄付をいただきました。

○大久 愚牛ヤマエ 様  
亡母 イシ さん  
○持崎 三好 善数 様  
(大阪府守口市在住)  
亡母 トキエさん  
瀬戸町社会福祉協議会の活動資金として役立ててほしいとの申し出がありました。

○瀬戸町歌謡同好会 様  
○入瀬沢地区漁協専修組合 様

まごころ銀行

お礼

広報の発行費用として次の方々よりご寄付頂きました。紙上より厚くお礼申し上げます。

大阪市	岡川 定男 様
京都府	山本 孝子 様
山本カメ子 様	
兵庫県	和田美智子 様
東京都	中岡 徹平 様
大阪府	東大 潤江 様
永井千代美 様	
河内長野市	西川ミネヨ 様
奈良県	越智 颯子 様

瀬戸町社会福祉協議会

紙上より厚くお礼申し上げます。